

# 海南島近現代史研究会 第11回定例研究会

1939年2月10日に、日本軍は、海南島に奇襲上陸しました。

その74年目の日に、11回目の海南島近現代史研究会定例研究会を開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

と き：2013年2月10日（日）13時～17時（開場12時）

と ころ：大阪産業大学 梅田サテライト

（大阪駅前第三ビル19階）

参加費：500円（会員は無料です）



## 主題：海南島と独島（竹島）

### ■主題報告1 独島（竹島）の最新の歴史

朴炳渉

江戸幕府や日本政府は、独島（竹島）を朝鮮領と判断したことは何度かあったが、日本領と判断したことは1905年以前には一度もなかった。その島を日本は日露戦争に役立てるため日本領へ編入した。そうした独島（竹島）の歴史を、最新の研究成果をまじえながら紹介する。

### ■主題報告2 海南島と独島

佐藤正人

1905年1月に日本政府は朝鮮の独島を閣議で「本邦所屬」とした。19世紀後半以後に他地域・他国侵略の過程で形成された国民国家日本による独島領土化と海南島占領の歴史的脈絡を解析する。

### ■主題報告3 独島（竹島）問題の解明

論議・資料・地図の分析を通して

久保井規夫

独島（竹島）問題は、日本が日露戦争の最中に欺瞞の領土化したことが発端である。資料・地図を分析し、日本政府見解「竹島は歴史的にも国際法上も日本固有の領土」の誤りを指摘する。

### 【報告】海南島昌江旦場村（現、東方市四更鎮旦場村）の追悼碑建立について

金静美

農曆1939年9月23日に村人93人を日本軍に殺害された旦場村の人たちは、いま、犠牲者の名を刻んだ追悼碑を建立しようとしている。村には、いまも、日本軍に焼かれた家の廢墟が残っている。

### 【調査報告】第9回海南島「現地調査」（2012年秋）

斉藤日出治

日本軍が多くの村人の命を奪った 儋州市木棠鎮美龍村、東成鎮水流村、白沙黎族自治県阜龍鎮阜龍郷、陵水黎族自治県光坡鎮港坡村、澄邁県加来鎮常樹村……を訪ねたときのことを報告する。

### 【報告】「朝鮮村」の朝鮮人の遺骨の現状

金静美

「朝鮮村」の中央を貫く高速道路がつくられ、日本軍に虐殺された朝鮮人が埋められている場所の7割が土砂で埋められてしまった。残されている3割の現場を「発掘」する展望は？

### ■2013年3月の海南島近現代史研究会の第10回海南島「現地調査」について

### ■海口博物館、海南省図書館、《瓊崖縦隊》撮影組との共同作業について

### ■展示：独島（竹島）にかかわる諸地図（原本）

長久保赤水「改正日本輿地路程全圖」（1791年版）、林子平「三國通覽圖說 朝鮮八道之圖」（写本、1785年）、高柴英三雄「大日本國郡輿地全圖」（1849年）、秋田兼吉「最近踏査滿韓西比利地圖」（1904年5月）、東洋拓殖會社「朝鮮在留内地人及東洋拓殖株式會社所有地分布圖」（1912年2月現在）ほか。

海南島近現代史研究会 <http://www.hainanshi.org/>

【事務局】 大阪産業大学経済学部 斉藤日出治研究室内